

アルミ国内スクラップは引き締めモード

橋本健一郎氏は引き締めモード



橋本健一郎氏

■国際概況
十月前半は、米追加経済対策を巡って、依然として米議会の共和党と民主

米議会の共和党と民主

連続の減少。
新設住宅着工床面積は五、八二五千㎡。前年同月比九・二％減、一四カ月連続の減少。季節調整済年率換算値では八二万五千戸。前月比〇・五％減、二カ月連続の減少。

◆貿易関連指標

輸出

財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地金が前年同月比二・七％減の一三・四t、二次合金が一・四％減の一、五六九t、スクラップが二七・五％増の一、八、九五六t、アルミ缶が七・八％減の六、九九七t。

輸入

輸入は新地金が前年同月比二・九％減の七万三、二八六t、二次合金が三・八％減の六、六九九〇t、スクラップが六・八％増の六、〇〇t、合金スクラップは二〇・八％増の三、五三〇t。

■前月の国内指標

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年同月比七・五％減の一四万九、七三三tと一四カ月連続マイナス。

アルミ二次合金・同合金地金等生産実績によれば前年同月比五・一％減の六万三、一七〇tと二カ月連続マイナス。

出荷は七％減の六万四、〇三二tと二カ月連続マイナス。

(六面へ続く)

アルミスクラップが引き続き増加

党で協議はまとまっていけないこと、トランプ米大統領の新型コロナウイルス感染などの悪材料もあったが、中国の九月製造業購買担当者景気指数(PMI)が事前予想、および前月を上回る強気な内容だったこと、追加の経済対策に先行して業界や分野を絞った支援を実施するよう求めたことを好感しLMEアルミ相場はUP、九月初価格から九九ドルUPの前半締めとなった。

後半は、欧米での新型コロナウイルス感染拡大第三波に対する警戒感の高まりなどのマイナスマテリアルもあったが、八月の中国のアルミ地金とアルミ製品輸入が一年以上以上の高水準四三万トンとなったこと、米大統領選でバイデン候補が次期大統領に確定したことを好感しLMEアルミ相場はUP、十一月七日現在、後半スタート価格から六七・五ドルUPの一、八九一・五ドル。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート(TTS)

一〇八・七〇→一〇五・六〇(円)

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると、七月の自動車生産台数は前年同月比二二・一％減の六九万七、八六七台。

輸出(八月)は前年同月比二二・八％減の二六万九、九五三台。

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると、十月の自動車販売台数(軽除く)は前年同月比三一・六％増の二五万三、三〇四台。

◆新設住宅着工件数

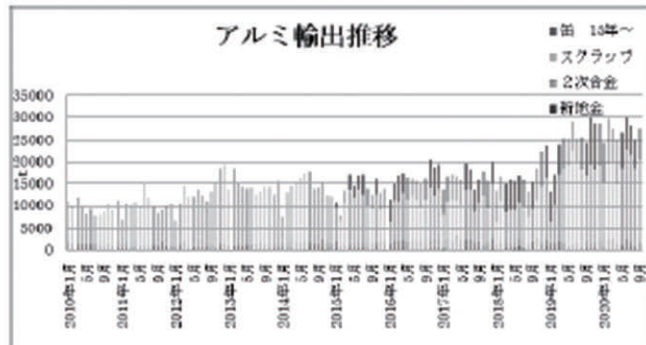
九月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比九・九％の減少となった。

また、季節調整済年率換算値では前月比〇・五％の減少となった。

◆新設住宅着工戸数

新設住宅着工戸数は七万〇、一八六戸。前年同月比九・九％減、一五カ月

アルミ輸出推移



アルミ輸入推移

